

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
フォーラム情報アカデミー専門学校	平成20年1月8日	坂口 伸昭	〒950-0901 新潟県新潟市中央区弁天3-1-19 (電話) 025-247-6300																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人実学教育学園	平成20年4月1日	廣田 靖人	〒950-0901 新潟県新潟市中央区弁天3-1-19 (電話) 025-247-6300																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
工業	工業専門課程	情報ソフトウェア科		平成21年文部科学省告示第21号	-																						
学科の目的	本校は、高度な専門教育、及び企業と連携した実習・演習を実施し、今後更なる発展を遂げるIT社会において、システム開発等の社会基盤整備に貢献できる技術、そしてWebなどのIT利用に貢献できる技術とともにマネジメント能力や外部交渉力を兼ね備え、幅広く柔軟に対応できる実践力と応用力のある																										
認定年月日	平成28年2月19日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1年 852時間	1年 91時間	1年 271時間	1年 400時間	0	0																				
		2年 852時間	2年 0時間	2年 0時間	2年 852時間																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
120人	61人	60人	4人	3人	7人																						
学期制度	■第1学期：4月1日～9月30日 ■第2学期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 出席率80%以上 ペーパーテスト及び実技・課題提出 成績：S(100-90), A(89-80), B(79-70), C(69-60)																						
長期休み	■夏季：8月1日～9月30日 ■冬季：12月14日～1月13日 ■学年末：3月1日～3月31日			卒業・進級条件	出席率：80%以上 成績：全ての教科がC評価以上 学費・積立金・諸経費全て完納																						
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 本人保護者への連絡を密にし、本人との面談、保護者との面談、3者面談を行い、状況把握と指導を行う。都度指導記録を残す。また公共のサポート施設利用も薦める。			課外活動	■課外活動の種類 学園祭等の実行委員会 ■サークル活動：無																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) ・システム開発会社 ■就職指導内容 ○就職担当における全校指導と、クラス担任による個別指導 ○全教職員による情報共有と連携 ○全校保護者対象に就職指導体制説明会の実施 ○外部主催の「説明会」等への積極的参加指導 ■卒業生数：0人 ■就職希望者数：0人 ■就職者数：0人 ■就職率：#DIV/0! % ■卒業者に占める就職者の割合：#DIV/0! % ■その他 ・進学者数：0人 ・起業した学生：0人 ・帰国準備ビザへの切り替え：0人 (令和5年度卒業生に関する令和6年度5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語能力検定試験(JLPT)</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	日本語能力検定試験(JLPT)	③	3人	1人												
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
日本語能力検定試験(JLPT)	③	3人	1人																								
				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 補足：JLPTはN1～N3の合計数																							
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和5年4月1日時点において、在学者4名(令和5年4月1日入学者を含む) 令和6年3月31日時点において、在学者2名(令和6年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学校生活への不適合等 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生面談を早期に実施し、学生の悩みや心配事を早い段階で認識出来るようにする。また保護者面談も行い、3者間で悩み等を解決出来るような体制を知ってもらうことで、安心して学校に登校できるという気持ちになるように環境を整える。更に公共のサポート施設の利用も視野に入れて、更なる安心感が持てるようにする。			■中退率 50%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ※有の場合、制度内容を記入 ・日本人学生向け：学費支援認定制度(入学金、学費の一部を免除) ・留学生向け：留学生奨学金																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	https://www.forum.ac.jp																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1) 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2) 「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。